

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成30年11月分)

平成30年12月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルプスカ共和国(RS)

※当該月、ブルチュコ特別区に関する主だったニュースはなし。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● 中央選管、国政選挙の最終結果を公表(6日)

6日、中央選挙管理委員会は、10月7日に実施された国政選挙の最終結果を公表した。そのうち、BH連邦議会下院とRS国民議会の各1議席については、追加の決定が必要として保留とされたが、結局は10月22日に発表された暫定結果から、変更が加えられることはなかった。

● 国政レベルの連立交渉

中央選管による国政選挙の結果確定を受け、11月中旬以降、国政レベルにおける連立交

渉が開始された。

12日、SNSD(セルビア系)及びHDZ(クロアチア系)の幹部が会合を行い、全レベルでの連立協力について合意した。一方で、15日、チョービッチHDZ党首は、同党及び他のクロアチア系民族主義政党は、BH閣僚評議会には参加するが、BH選挙法改正問題が解決されない限りはBH連邦政府には参加しないと発言。30日には、イゼトベゴビッチSDA党首(ボシュニャク系)とチョービッチHDZ党首が直接会談を行い、BH国家レベルの連立について協議を実施。合意には至らなかったが、会談後、協力に向けた「前向きな意思」を確認し合った旨述べた。

● BH新大統領評議会の就任式開催(20日)

20日、サラエボの大統領府において、ドディックSNSD党首(セルビア系)、コムシッチDF党首(クロアチア系)、ジャフェロビッチSDA副党首(ボシュニャク系)の3名から成る新大統領評議会の就任式を開催。同式典には前職のイバニッチ・セルビア系メンバー(PDP名誉党首)及びイゼトベゴビッチ・ボシュニャク系メンバー(SDA党首)が出席したが、チョービッチ・クロアチア系メンバー(HDZ党首)は欠席した。

また、今後8ヶ月間、輪番制の議長を務めるドディック議長は、自身の事務所を置くRSの東サラエボからBH連邦のサラエボに入る際に、BH国家及びBH連邦警察の護衛を拒否してRS警察を同伴し、物議を醸した。

●BH閣僚評議会会合の開催(22日)

22日、BH閣僚評議会の会合が開催され、欧州委員会による「欧州2020」及び「南東欧2020」に関連した戦略枠組みに沿った、2019年～2021年閣僚評議会中期行動計画、及び2019年～2021年BH経済改革プログラムに関する行動計画を採択した。

なお、新閣僚評議会が発足するまでは、現閣僚評議会がEU関連文書等を含めて政府としての対応を行う。

●オリッチ元BH共和国軍スレブレニツァ部隊司令官に無罪判決(30日)

30日、BH裁判所控訴審パネルが、オリッチ元BH共和国軍スレブレニツァ部隊司令官及びムヒッチ同部隊将校(共にボシュニャク系)のセルビア系住民に対する戦犯容疑をめぐる裁判で無罪判決を言い渡し、両被告に対する裁判が結審した。これに対して、ドディックBH大統領評議会議長を始めとするセルビア系政

治家は、BH裁判所の判断は中立性に欠けるとして非難した。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ボシュニャク系多数派カントンで、与党からSDA外しの動き

11月第2週以降、中央選管による選挙結果の確定を受け、ボシュニャク系最大政党であり、今まで与党の座にあったSDAを外した形での連立形成を目指し、SDP、DF及びNS等のボシュニャク系を主体とする多民族政党(中道左派系)とSDAから分裂した中小政党等が交渉を開始した。

●カントン新議会が続々発足

16日、BH連邦におけるカントン新議会の発足期限が到来した。これに前後して、14日には10カントンのうち最大人口を誇るトゥズラ・カントンが、また16日には、最大経済規模を誇るサラエボ・カントンが新議会発足会合を実施。その後、29日までに全10カントン議会が発足した。

28日、サラエボ議会はSDAを外して議長・副議長を選出したが、サラエボ・カントンを含め、連立与党や新政府の発表は12月に行われる見通し。

●BH連邦議会下院の発足(21日)

21日、BH連邦議会下院が発足会合を実施。定員98名中95議員が宣誓を行ったが、その後議長の選出について対立し、SDA(ボシュニャク系民族政党)及びHDZ議員(クロアチア系民族政党)が退場した中で、SDP、DF及びNS(ボシュニャク系主体の中道左派政党)による議員クラブが推薦したSDPのカライビッチ

議員が議長に選出された。

●所属民族の変更による当選をめぐる告訴

29日、チェンギッチBH連邦議会下院議員(SDP)は、以前クロアチア系議員としてヘルツェゴビナ・ネトバ・カントン政府で大臣を務めていたオプセニツァBH議会下院議員(HDZ)が、今次選挙ではセルビア系として当選したことについて、モスタル市職員が勝手に登録したと弁明したことを受けて、特定されていない同市職員をBH検察庁に告訴。

所属民族は自己申告制。よって、変更は容易であり、選挙戦を有利に戦うための所属民族の変更は、今次選挙でも数件発生している。

イ スルプスカ共和国(RS)

●RS野党からの離脱と与党参画への動き

6日、今次選挙でBH議会下院議員に当選したペトロビッチ・ドボイ市長(SDS)が、ドディックSNSD党首との間で、自身を含むSDS議員とSNSD等与党連合とのBH議会における連立可能性につき協議したことに関し、ゴベダリツァSDS党首は党方針から逸脱するとして同市長等の除名を発表。

続く7日、チャビッチNDP党首は記者会見において、同党がSDS、PDPとの間で結成してきた政党連合「勝利のための同盟」から離脱する旨、及び、ドディックSNSD党首との間で連立交渉を行っている旨発表した。

●ドディックSNSD党首、ビシュコビッチ同党副党首をRS首相候補に任命(13日)

13日、SNSD執行委員会は、DNS等連立政党も賛成の下、ビシュコビッチ同党副党首をRS首相候補として決定した。連立第二党のD

NSは、同党からの首相擁立を要求していたが、SNSDへの譲歩を余儀なくされた。

●RS国民議会の発足とチュブリロビッチ議長の再任(19日)

19日、RS国民議会が発足会合を実施し、SNSDが推薦したチュブリロビッチ現議長(DNS)を新議長に再任。なお、DNSは別の同党議員を推薦しており、党の方針に従わなかった同議長他数名を、本国会合後に同党から除名する事態が発生した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●インツコ上級代表、国連安保理報告(6日)

6日、インツコ上級代表は、BHの和平履行に関する報告書を国連事務総長に提出し、国連安保理において報告を行った。

同報告書によれば、本報告がカバーする半年間は、5月に公示され10月7日に実施された国政選挙の準備期間にあたり、この影響から、引き続き全レベルで政治が停滞した他、一部の政治家による民族対立を煽るレトリックが悪化した。中でも、8月、スレブレニツァにおける大量虐殺に対するRS軍と警察の関与を認めた2004年のスレブレニツァに関するRS政府報告書を、RS政府が撤回した件に関し、近年続いている和解を逆行する動きの中でも、突出した問題であるとして懸念を示した。

●EU外務理事会、クロアチアの要請により、国政選挙後のBH情勢について協議(19日)

19日、EU外務理事会(FAC)は、クロアチアの要請により、国政選挙後のBH情勢に関

して協議を行った。ペイチノビッチ=ブリッチ・クロアチア外相は、ボシュニャク系有権者を票田としたコムシッチBH大統領評議会クロアチア系メンバーの当選に関連して、BHのクロアチア系の処遇と全政府レベルにおける「正当な代表者」に関するクロアチアの懸念を表明した。一方で、モゲリーニEU外交安全保障政策上級代表は、EUがBHに求める優先事項は、①可及的速やかな政府の立ち上げ、②改革プロセスの再開、③改革プロセスにおける選挙法改正問題への取組みである旨述べた。

●エネルギー憲章条約閣僚会合、BHに勧告(29日)

29日、エネルギー憲章条約閣僚会合がルーマニアのブカレストで開催され、BHに対し、6カ月以内にエネルギー憲章条約違反を是正しない場合に制裁措置を導入する旨勧告する決議を採択した。

(2) 二国間関係

●コソボ、BHに対し100%の関税導入を決定(21日)

21日、コソボ政府は、自国製品及び経済の強化を目的に、BHとセルビアに対し100%の関税を導入することを決定した。BHとセルビアは、中欧自由貿易協定(CEFTA)違反であるとして同措置の撤回を求めている。なお、自国経済の保護は表向きの理由で、同措置は、コソボを国家承認していない両国が、コソボのICPO加盟に反対し、妨害したことへの報復措置だと見られている。

対コソボ貿易は、輸入に比べて輸出が10倍多く、BHには大きな打撃となる。なお、主要出品目は乳製品、油、及び紙製品。

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業

●BH国民の預金総額は約60億ユーロ

中央銀行の発表によれば、BH一般家庭の商業銀行における預金残高総額は、9月末時点、過去最高の118億KM(約60億ユーロ)。同預金は商業銀行の預金総額の55.4%を占めており、銀行の貸付業務等に重要な役割を負っている。

●BHのビジネス環境ランキングは89位

10月末付で世界銀行が発表したビジネスのやり易さに関するランキング(Doing Business 2019)によれば、BHは昨年より3位ランクを落とし、190カ国中89位となった。

●1-9月の観光客数、115万人を超過

2018年1月-9月にBHを訪れた観光客は、約115万4,000名。2017年の同期間と比べ、12.4%増加した。なお、宿泊を伴う観光客の上位5カ国は、クロアチア(10.6%)、セルビア(7.9%)、トルコ(6.6%)、UAE(5.6%)、スロベニア(5.4%)であり、近隣諸国と中東が占めている。

●世界銀行のBHプロジェクト総額は、25億米ドルを超過

BH中央銀行のデータによれば、世界銀行は1996年以来、BHにおいて101のプロジェクトを行っており、総額は25.1億米ドルに上る。現在は、14のプロジェクトは実施されており、最大規模は、RS鉄道の再建に関するもので、総額は約1億5000万米ドル。

●IMFとBHの合意は中断(26日)

26日、IMFの駐BH代表は、IMFとBHの交渉は現在中断されており、信頼供与措置に関

するレビューの決定や追加の送金等は、新政府が立ち上がるまでは、一切動きがない旨述べた。

●RS政府、サントペテルブルクに商工会議所を開所予定

29日付け当地紙によれば、RS政府は露のサントペテルブルク市に商工会議所を開所する。右は、RSと同市及び露の経済関係の強化を目的としており、開所式にはドディック大統領評議会議長(セルビア系)が参加する予定。

(2)経済協力

●2017年、欧州諸国からのBH支援総額は1.1億ユーロ

BH財務省の発表によれば、2017年、EU代表部及び欧州6カ国は、BH支援(融資を含む)に合計1.1億ユーロを拠出した。2016年は約1億ユーロで、若干の増加が見られた。

●英国、BH軍兵士の英語力強化を支援

14日付け当地紙によれば、英国国防省は、BH軍兵士の英語力強化を目的として、BH軍専門訓練センターの英語学習室機材を無償供与し、英国大使が参加して引き渡し式が行われた。

●中国、国境警察に約490万ユーロを供与(13日)

中国はBH国境警察に対し、総額950万KM(約490万ユーロ)相当のセキュリティ・チェックのための特殊機材を無償供与し、13日、中国大使と国境警察との間で引き渡し式が実施された。

●独、国境警察に約50万ユーロを拠出(20日)

独はBH国境警察に対し、約50万ユーロ相当の特殊車両、パトロール艇、サーモ・カメラ等の専門機器を無償供与し、20日、サラエボの国境警察本部事務所において引き渡し式が実施された。

(3)民間セクター

●BHの皮革及び製靴セクターは順調な伸び

29日付当地紙によれば、BHの皮革及び靴の製造セクターは順調な成長を続けており、2013年から2018年の輸出総額は48億KM(約25億ユーロ)に上る。なお、主な輸出先は、独、オーストリア、スロベニアで、右産国だけで総額の78%を占めている。

●中国寧波市ビジネス・ミッションのサラエボ訪問

29日、サラエボを訪問中の中国寧波市のビジネス・ミッションとBH政府の共催で、第一回BH・寧波市ビジネス投資会議が開催された。中国側からは、繊維業、エネルギー分野、医療機器、プラスチックやアルミ部品製造等の17社が参加し、BH側からは27のプロジェクトやビジネス・ゾーンの代表者及び機械産業、建材、出版社、医療ハーブ等の会社から49名が参加した。

(了)